

平成29年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立学校中原小学校

●全国学力学習状況調査(小6・中3)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	手紙の構成を理解し、後付けを書く	37.80%	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章における登場人物の相互関係を考えながら読み取ることが出来ている。 ・新出漢字の定着が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意図に応じ、必要な情報を取り入れ、整理して発信することが、課題である。
	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える。	41.20%		
	自分の意図に応じ、必要な内容を整理して書く。	44.50%		
算数・数学	与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけをかく	21.80%	<ul style="list-style-type: none"> 算数Aでは、正答率が87%であり、知識については学習内容を十分に理解している。算数Bでは、「数の計算」領域で立式すること、図で表現することはできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数Bでは、平均正答率が55%で、特に数量関係「割合」の数学的な考え方を評価する問題の正答率が低かった。問題文の題意把握を確実にできるようにし、言葉、式、図、表、グラフなどと関連付けて解決するとともに、自分の考えを、友達の考えと関わらせて考えるように指導する。
	13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く	37.00%		
	学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの人数の割合を表しているグラフを選ぶ	37.80%		

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(小5・中2)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	修飾と被修飾の関係	23.50%	<ul style="list-style-type: none"> 「話す・聞く」「書く」についての関心が大変高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉のきまりを基にして、正確に読み取ること課題がある。
	主語と述語の関係	40.90%		
	叙述をもとに気持ちを正確に読み取る	60.90%		
算数・数学	空間の位置が三つの長さの組で表せる	0.90%	<ul style="list-style-type: none"> 数と計算、数量関係・基準量、比較量、割合の関係を図や式に表すことは十分にできている。量と測定の問題も理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を確実に読み取り、「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」を育てる。
	並べる回数と並べるご石の数について読み取ったことをもとに、問題を解決する	0.90%		
	おかしと飲み物を選んだ人数について読み取ったことをもとに問題を解決する	6.80%		
理科	電気を通す物は金属であることを理解しているか	26.50%	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察を通して自分の考えを持ち解決していこうとする力が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気の分野には苦手意識があり、問題を繰り返し行う必要がある。実験の結果の確認や振り返りに時間をかける。
	乾電池の数やつなぎ方を変えると、モーターの回る速さや向きが変わることを理解しているか	57.30%		
	予想が正しかった場合に得られる実験の結果について考えることができるか	58.10%		
社会	自分たちが通う小学校がある区市町村の位置を理解できているか	15.40%	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象についての関心が高く、体験的な学習を基にした内容についての問いには、自分の考えを見つけていこうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住んでいる市区町村の位置、資料から課題を類推するなど、自分の生活に結び付けて学ぶ力を育てる。
	市の課題に対するみはるさんが考えた解決策について推論することができるか	49.60%		
	資料から取り出した情報を関連付け、市の課題を読み取ることができるか	51.30%		
英語 ※中学校のみ				